

埼玉県産業元気・雇用アップ戦略実績（令和6年度）

	施策	指標	単位	策定時の値・時点		最新値 時点		最終目標値 (カッコ内は最新の年度目標)		年度末時点の値と 年度目標との比率	最新の年度目標の 達成状況
I 産業を 振興 し、稼 げる力 を高め る	1 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援	1 経営革新計画の承認件数	件	—	—	3,045	令和6年度	5,000 (3,000)	令和4年度～令和8年度の累計 (令和6年度)	101.5%	○
		2 県の支援による創業件数	件	—	—	917	令和6年度	1,000 (600)	令和4年度～令和8年度の累計 (令和6年度)	152.8%	○
	2 新たな産業の育成と企業誘致の推進	3 企業(製造業)が生み出す付加価値額	兆円	4.8	令和元年	5.3	令和5年	4.8 (4.8)	令和8年 (令和5年)	110.4%	○
		4 新規の企業立地件数	件	—	—	166	令和6年度	250 (150)	令和4年度～令和8年度の累計 (令和6年度)	110.7%	○
	3 商業・サービス産業の育成	5 サービス産業の労働生産性	万円	391.9	平成30年度	395.0	令和4年度	459.2 (424.2)	令和8年度 (令和4年度)	93.1%	△
	4 魅力ある観光の推進	6 観光客1人当たりの観光消費額・県外からの宿泊客	円	15,955	令和2年	26,050	令和6年	29,300 (25,600)	令和8年 (令和6年)	101.8%	○
		7 観光客1人当たりの観光消費額・県外からの日帰り客	円	5,695	令和2年	8,219	令和6年	8,700 (7,900)	令和8年 (令和6年)	104.0%	○
		8 本県で観光・レジャーなどを楽しむ人の数	千人	7,349	令和2年	12,266	令和6年	16,000 (15,000)	令和8年 (令和6年)	81.8%	△
		9 外国人観光客数	万人	8	令和2年	106	令和6年	97 (85)	令和8年 (令和6年)	124.7%	○
II 誰もが 安心して 活躍 できる 社会を つくる	5 幅広い世代への就業支援	10 就業率	%	61.2	令和2年	62.5	令和6年	62.2 (61.5)	令和8年 (令和6年)	101.6%	○
		11 県内大学新規卒業者に占める不安定雇用者の割合	%	4.9	令和元年度	5.4	令和5年度	3.9 (4.5)	令和8年度 (令和5年度)	83.3%	×
	6 多様な働き方の推進と働きやすい職場環境の整備	12 多様な働き方実践企業のうちプラチナ認定企業の割合	%	18.6	令和2年度	48.3	令和6年度末	27.5	令和8年度末	175.6%	○
		7 女性・高齢者が働きやすい環境づくりと就業・起業支援	13 女性(30～39歳)の就業率	%	71.6	令和2年	77.7	令和6年	77.2 (76.2)	令和8年 (令和6年)	102.0%
	14 女性(40～49歳)の就業率		%	76.3	令和2年	80.2	令和6年	79.7 (78.9)	令和8年 (令和6年)	101.6%	○
	15 女性キャリアセンターを活用した就業確認者数		人	—	—	5,866	令和6年度	9,500 (5,700)	令和4年度～令和8年度の累計 (令和6年度)	102.9%	○
	16 シニア活躍推進宣言企業のうち70歳以上の高齢者が働ける制度のある企業の数		社	1,136	令和2年度末	1,971	令和6年度末	2,200 (1,921)	令和8年度末 (令和6年度末)	102.6%	○
	8 障害者の就労支援	17 県の就業支援による65歳以上の就職確認者数	人	—	—	2,211	令和6年度末	3,700 (2,130)	令和4年度～令和8年度の累計 (令和6年度末)	103.8%	○
		18 民間企業の障害者雇用率	%	2.30	令和2年	2.47	令和6年	法定雇用率以上 (R6.2.5)	令和8年	98.8%	△
9 産業人材の確保・育成	19 在職者訓練による人材育成数	人	—	—	11,726	令和6年度	22,500 (13,500)	令和4年度～令和8年度の累計 (令和6年度)	86.9%	△	
	20 技能検定合格者数	人	—	—	21,261	令和6年度	46,000 (27,600)	令和4年度～令和8年度の累計 (令和6年度)	77.0%	△	

【検証結果】
 ○ 達成状況: 20指標中 ○(年度目標達成)……14指標(70.0%) △(年度目標は未達だが策定時より改善)……5指標(30.0%) ×(策定時より後退)……1指標(5.0%)
 ○ 指標「本県で観光・レジャーなどを楽しむ人の数」は、観光誘客に向けた取組の効果などにより、国内の県外からの観光客が増加した一方で、「長く」「遠く」に旅行したいというニーズの高まりなどを背景に県内の日帰り客が減少したことから、年度目標を下回った。
 また、国内旅行者の長期的な伸び悩みや、コロナ禍収束時に高まった旅行意欲の落ち着きなども影響したものと考えられる。
 ○ 指標「県内大学新規卒業者に占める不安定雇用者の割合」は、新卒採用が売り手市場となり雇用期間が1か月以上の有期雇用労働者を選択する者が減少した一方、前年度に比べ賃金水準の上昇などから臨時労働者として就職した新卒者が増加し、策定時より後退している。
 ○ 指標「民間企業の障害者雇用率」は、過去最高を更新したものの、令和6年4月1日から法定雇用率が引き上げられたことにより、新たに40人から43.5人未満の従業員規模の事業所もハローワークへの報告義務の対象となった。この新たに報告対象となった企業の達成割合が27.7%と低かったため、年度目標を下回った。
 ○ 指標「在職者訓練による人材育成数」は、企業の人手不足により人材育成のための時間確保ができず、企業申込の講習が大幅に減少したため、年度目標を下回った。
 ○ 指標「技能検定合格者数」は、技能実習生の受検者及び合格者数は、在留資格「技能実習」での在留外国人数の回復に伴い、増加傾向にある一方、日本人の受検者及び合格者数が伸び悩んだため、年度目標を下回った。